



# 優しく遅く

令和 6年12月17日  
市川市立第六中学校  
校長 河合 滋



## 2024 から 2025 へ



2024 年もあと残りわずかとなりました。今年 4 月に六中に着任し、素直でさわやかな生徒たちと、教育熱心で温かい保護者の方々に出会うことができました。『やさしくたくましく生きる人間に成長しよう』の学校教育目標のもと、教育活動を展開してきました。

六中の生徒は優しく思いやりのある生徒が多くいて、日常の授業はもちろん、体育祭や修学旅行、合唱祭や校外学習などの行事で協力する姿がたくさん見られました。また、部活動が盛んで多くの部活動が大会やコンクールで入賞し、六中生のたくましさをたくさん感じました。

さて、2025 年の干支は、巳（み）です。巳とは十二支の蛇（ヘビ）のことです。蛇というとマイナスなイメージを連想してしまいますが、昔から神の使いとして祭られ、脱皮により復活と再生を連想させる縁起の良い生き物とされてきました。来年は巳年なので、たくましく社会を生き抜く生徒の育成を重点に教育活動を展開してまいります。

今年一年間、本校の教育活動にご理解ご協力ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひ致します。



## ボランティア活動

11 月末に校庭の側溝掃除をしました。PTA の方や鬼高小おやじの会、部活動の生徒と先生方とで、溝に溜まった砂や泥をかき出しました。

また、12 月に入って、生徒会から「落ち葉拾いボランティア」の呼びかけがあり、たくさんの生徒が始業前に落ち葉をまとめてくれています。人のために活動することで、自分の何かが変わることでしょう。六中はボランティア活動する生徒を応援します。



# カウンセラーから・・・

急に寒さが厳しくなって太陽の陽差しの有り難さ実感しますね。  
2024年は、皆さんにとってどんな一年だったでしょうか？



年の初めは、どうだったか？新年度を迎えた4月頃は、どうだったかな？夏休みが終わった秋口は……と思い返してみてください。そうすると、思っていた以上の変化があることに気がついて、一年が豊かで色鮮やかに見えてくるようになると思います。日々の変化は小さくて、意識をして振り返ってみないと気付けないことが多いです。

また、一年や年度区切れ目のような外的な区切れ目は、こころの世界にとってもひとつの状態が終わりを迎えて、新しい世界に切り替わっていく節目として働くこともあります。年の終わりに一年の時間の流れを感じながら今年を振り返って、年が変わることを意識して、こころの世界も新たに新年を迎えてみてください。



## ブロック学校運営協議会

2月10日（火）六中図書館にて、鬼高小、稻荷木小、六中の3校合同学校運営協議会がありました。



40名近くの地域の方々が、学区の危険個所を話し合い安全マップをつくりました。

子どもたちの健全な育成を見守ってくれる、地域の応援団です。頼もしい限りです。

## 地区別音楽会



12月7日（日）六中体育館にて、六中ブロックの合同演奏会がありました。鬼高小の管弦楽部、稻荷木小の吹奏楽部の後、六中の管弦楽部が演奏しました。木管・金管・弦楽の3つのアンサンブルできれいな音色を響かせてくれました。最後の3校合同演奏は、総勢120名の迫力ある演奏で、体育館がコンサートホールのようでした。



☆ 学校ホームページには、普段の学校の様子を発信しています。また、緊急時の連絡手段として情報発信することができます。表題上部のQRコードからご覧ください。

文責 校長